

1 校訓

- 【自律】 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒
- 【協同】 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒
- 【責任】 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒

2 学校教育目標

人との繋がりの中で、豊かな心を育み、自ら学び考え、
たくましく生きる生徒の育成を目指す

【めざす生徒像】

- 将来を見据え自ら考え、自ら学び努力する生徒
- 礼儀正しく規律ある生徒
(挨拶、返事、掃除、時間、身だしなみ、言葉遣い、良い姿勢が身につけている生徒)
- 協力的で、他人を思いやり社会貢献できる生徒
- チャレンジ精神を持ち、向上の意欲に溢れる生徒
- 心身共に健康で強い意志を持つ生徒

【めざす教師像】

～すべては生徒のために～

信頼・責任・協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団

- 教育的な温かさとしげさにあふれ、知恵を出し、汗を流すことを惜しまない教師
- 教師としての資質向上をめざし、自己研鑽を怠らない教師
- 高い協働意欲のもと学校運営に積極的に参画し、保護者や地域から信頼される教師
- 高い危機管理意識を持った教職員

【めざす学校像】

- 明るく活気にあふれ、生徒・教師が生き生きと安全で安心して生活できる学校
- 生徒と教師がお互いに信頼と誇り（母校愛＝プライド）がもてる学校
- 清潔で美しく、落ち着いた環境で生活できる学校
- 保護者や地域と連携して「開かれた学校づくり」を推進し、信頼される学校

3 本年度の重点目標 『人との繋がりの中で人を育てる』

○新型コロナウイルス感染症を防止し、生徒の健康・安全を第一に考える教育活動の推進

(1) GIGA スクール考想の実現に向けて ICT 機器を用いた授業、タブレット端末の活用を図る。

(2) 礼儀正しく規律ある生活習慣の確立と組織的・機動的な生徒指導体制の確立を図る。

(3) 確かな学力の育成、授業規律の確立に努めるとともに、家庭学習習慣の定着を図る。

(4) 人間性豊かな生徒(豊かな心と健やかな体)の育成

学校行事、体験活動、道徳教育、人権教育、食育、部活動等の充実を図る。

(5) 小中一貫・地域連携教育を一層深め、信頼される学校づくりを推進する。

(6) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする個々の生徒の自立や社会参加に向けた取組を支援するという視点に立ち、適切な指導及び必要な支援を学校全体で行うとともに関係機関との連携を深める。

(7) 組織的・機動的な学校運営を推進し、活気あふれた職場づくりを推進する。

4 重点目標達成のための具体的な方策

○新型コロナウイルス感染症を防止し、生徒の健康・安全を第一に考える教育活動の推進

学校・幼稚園における新型コロナウイルス感染症対応マニュアルにもとづいて生徒が安全で安心して学校に来ることが出来る学校を目指す。

- ① 衛生面の徹底(マスク、手洗い、消毒)
 - ② 密にならない生活環境・授業づくり
- コロナウイルスについて正しく「知る」正しく「予防」を推進する。
感染者に対する偏見、差別の防止。

(1) GIGA スクール考想の実現に向けて ICT 機器を用いた授業タブレット端末の活用を図る。

- ・デジタル化が進んでいる中、ICT 機器を用いた授業での活用
 - ・**タブレット端末の本格的な稼働を目指す(朝自習、宿題等での活用等)**
 - ・**校務支援システムの活用とスキルアップ**
 - ・情報化社会に対応した情報教育
- 携帯電話やPC等の電子機器によるトラブルを予防するための情報モラルアップを図り、保護者へも啓発する。(他人を傷つけたり迷惑を掛けたりしないスマホ、ライン等の使い方やルールについて)

(2) 礼儀正しく規律ある生活習慣の確立と組織的・機動的な生徒指導体制の確立を図る。

- ① 目標達成のため、全職員で次の実践(凡事徹底)に取り組む。
(挨拶、返事、掃除、時間、身だしなみ、言葉遣い、良い姿勢など基本的な生活習慣を重視した指導を行う)
- ② 組織的・機動的な生徒指導体制の確立のため、生徒指導委員会の有効活用と、教師と生徒とのあたたかい人間関係に基づいた生徒指導を推進する。
- ③ 生徒指導の3つの原則を徹底する。
 - 危機回避 ※「先手を打ち、問題行動が生じない状況作り」
 - 初動が命 ※「その日にあったことは、その日に対応・処理を原則とし、初期対応を慎重かつ丁寧に」

○ **危機管理の「さしすせそ」**

最悪を考え、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応
「報告・連絡・相談・事後の確認と記録」

- ④ 生徒会執行部や専門委員会活動の活性化を図り、生徒会活動を充実させる。
- ⑤ いじめや不登校を生まない教育実践の充実を図り、生徒の発するサインを見逃さず、学校の組織を上げて未然防止・早期発見・早期解決に努める。
- ⑥ 教育相談等を活用して、生徒の目線に立った生徒理解に努める。

⑦ **不登校生徒への対応**

※「担任をひとりにさせない」学年・学校全体でのフォローアップ

⑧ **保護者・スクールカウンセラー・関係機関との連携**

(3) 確かな学力の育成(授業規律・授業改善・家庭学習習慣の確立)と体力の向上

- ① 新学習指導要領の実施を行う。
新しい教科書にて確実なカリキュラムの実施を行う。
- ② 授業規律確立(「チャイム席、始業と終業の挨拶、正しい姿勢と聞く態度、学習環境の整備」)のため、全職員で柳西中学校授業ルールの定着に取り組む
- ③ 基礎学力の定着・向上を図るため、自学自主ノートの取組を継続し、家庭学習習慣の確立に努めるとともに、図書館の活用等の読書活動の充実を図る。
- ④ 学習指導要領に基づく指導と評価の一体化に努める。
- ⑤ **学力体力向上部会の充実 スクールプランの確立・授業研修をおこない授業力向上を目指す**
- ⑥ **OJT を行い、授業力向上を目指す。**

(4) 人間性豊かな生徒(豊かな心と健やかな体)の育成

- ① 「いじめ」については「人として絶対に許されない」という認識に立ち、「命」を守り抜くという視点で、学校をあげて即日対応で取り組む。
- ② 集団の一員としての自覚と愛校心の高揚を図るため、学校行事、体験活動、生徒会活動等の充実に努める。

③ 道徳教育の推進

○「心を育てる教育」の推進のため、道徳の時間の確保と指導内容の充実を図るとともに、「新版いのち」や「わたしたちの道徳」、「副読本」等を活用した人権教育の推進に努める。また、生徒のコミュニケーション能力を高め、人間関係を調整する能力や技術を身につけさせるため、学級活動等の時間に「北九州子どもつながりプログラム」（北九州市対人スキルアッププログラム）を計画的に実施する。（年間6時間以上）

○道徳の教科化に伴う取組→ローテーション道徳や授業力向上のための研修を行う。

○月1回、「明日への伝言板」を実施し、人権教育の推進に努める。

④ 学校図書館教育の推進 →「読書」で心を耕し、豊かにする

○朝読書週間→常に傍らに本がある習慣をつける。

○学校図書館職員やブックヘルパーと連携して学校図書館の環境整備に努める。

○図書コーナーの開設→学年に図書コーナーを設け、タイムリーな書籍を配本する。

○学校図書館開放

→ 保護者・地域に開放し、読書を通じて子どもと会話を深める環境を整備する。

⑤ 部活動の充実

○限られた時間の中で、効率のよい部活動を推進する。

○全員顧問制とし、状況に応じて可能な部活動運営を推進する。

(5) 小中一貫・地域連携を基盤とした信頼される学校づくり

① 小中一貫・地域連携教育の効果的な取組を模索し、児童生徒の育ちの連続性を意識した教育活動を実践する。

② 積極的な家庭訪問による家庭との連携を強化する。

（欠席者には、電話連絡、3日休んだら家庭訪問）

③ 保護者や地域の理解と信頼を得るために、学校・学年・学級通信等、積極的に情報を発信するとともに、PTAとの連携や地域会議・地域行事へ積極的に参加する。

④ 開かれた学校づくりのため、学校評価や学校評議委員会等を効果的に活用する。

⑤「ワンディボランティア・地域ボランティア」の活用

→ボランティア活動・キャリア教育等に、地域力・地域人材を生かす。

⑥SDGsの視点から、生徒に自ら考え、活動する取組を推進する。

(6) 特別支援教育の推進

① 全校体制による特別支援学級の指導の充実を図る。

② 特別支援コーディネーターを中心に、特別な支援を要する生徒一人一人の教育的ニーズに応えるため、校内研修の充実と関係機関との連携を深める。

③ 個々の生徒の生活面や学習面の向上を目指し適切な指導や支援を組織的に行う。

(7) 組織的・機動的な学校運営と活気あふれた職場づくりを推進する。

① 研究主題をもとに授業実践を行う等、校内研修を通じて実践的な研究を推進する。

② OJT(教職員相互の学び合い)取組による人財育成

→若年・ベテラン教員の交流の中で、共に学び、授業力・教師力・指導力の向上を図る。

③ 月に2回定時退行日を設定し、18時以降に残らない。

※ 業務の改善と削減 ワークライフバランスの本気の取組を！

【その他 健康・安全教育の推進】

① 生徒指導部を中心に全教職員が、教育活動全般にわたる健康・安全教育の推進にあたり、事故発生時には迅速かつ適切に誠意をもってあたる。（初期対応の徹底に努める）

② 薬物乱用、喫煙防止等健康教育を徹底し、生徒の健全育成に努める。

③ 学校給食を生かした「食育」指導を推進する。

④ 避難訓練・防災訓練等を計画的に実施する。（自分の命は自分で守る）